

ふく チャレ

人と人をつなげ 町の未来に元気を届ける



語り人活動の中心「富岡ツアー」で立ち寄る県立富岡高校。町唯一の高校は、震災の影響で休校となっています。

富岡町3・11を語る会
あおき よしこ
青木 淑子さん

震

災の話を聞かせてほしいと
いう声に応え始まった富岡

町の語り人活動。依頼は年々増え、
「富岡町3・11を語る会」が設立さ
れました。代表の青木淑子さんは、
役場の帰町に合わせて富岡町に
移住、新事務所も構え町民と一緒
に活動に取り組んできました。

語り人活動の中心となっている
のが、震災の影響が残る町内を案
内する「富岡ツアー」。21メートル
の津波の跡が残る小浜海岸、バリ
ケードで区切られた夜の森の桜
並木、休校となり草木が茂る県立
富岡高校など。参加者は町の現
状に驚きを隠せないといえます。
しかし、コロナ禍で今春の申し
込みは全てキャンセルとなり、今
後の活動の見通しも不透明です。
そんな状況を打破したいと制作し



震災の影響が残る富岡町内をめぐり、町の現状を案内します。



コロナに負けじと制作したDVD「伝えます 富岡町」。



スタッフと協力して業務を進める青木さん。所属している語り人は19名にのびります。

たのがDVD「伝えます 富岡町」。
収束後に訪れてもらおうと、キャ
ンセルした団体へ送付しました。
「町の現状を実際にご覧いただ
き、富岡の未来を一緒に考えてい
きたい」。青木さんの願いは、地
域や世代を超え人と人をつなげ、
富岡町に元気を届けることです。
【問い合わせ先】富岡町3・11を語る会
☎ 0240(23)5431